



5月号

神戸市立こうべ小学校

こうべしぐさ

新しい学年が始まり、1ヶ月が過ぎようとしています。子供たちは、新しい先生や友だちにも慣れ元気いっぱい活動している姿を見かけます。子供たちの新しい環境に順応する力に驚いています。学校を訪問された方に、「こうべ小学校の子供はすごいですね。先に元気な声で挨拶をしてくれますね。それに学校の中が綺麗ですね。」とお褒めの言葉を頂きました。

その言葉を聞いた時に、嬉しさと同時に「江戸しぐさ」というものを思い出しました。商人のありようを説いたもので、その中に「三つ心、六つの躰（しつけ）九つの言葉、十二文（ふみ）十五理（ことわり）」と書いています。「九つ言葉」とは9歳までに、どんな方にも失礼のないあいさつができるようにしなさいということだそうです。毎日、ちゃんとあいさつができる良い習慣を身につけた子は、才能を超えるのだそうです。「十二文」とは、一家のあるじの代筆ができる作文力を12歳までに養うことだそうです。「十五理」とは、15歳になると、世の中の道理がわかっていなければならないということだそうです。

こうべ小の子供たちのために、当たり前のことが当たり前にできる「こうべしぐさ（どん・ふわ・ぴた・もく）」をさらに実践していかなければならないと思いました。「おはよう！」と人より先にあいさつする。「ありがとう、ごめんなさい、どうしたの、大丈夫、いっしょに遊ぼう、やさしいね、すきだよ、おめでとう。」とふわふわ言葉が溢れる学校でありたい。いつでも、ぴたっと聞く姿勢がとれる子供にしたい。全校生で取り組んでいる「もくもく掃除」で自分たちの学校を綺麗にできる子供でありたい。

学校においてもアンテナを高くして子供たちを見つめ、子供を認め、ほめ、励まして伸ばしていきたいと思っています。そして、自尊感情溢れる子供に育てていきたいと思っています。学校でも家庭でも地域でも「こうべしぐさ（どん・ふわ・ぴた・もく）」が実践できたらと思います。保護者、地域の皆様、子供たちへの温かい声かけを今後もよろしくお願いいたします。

ひみつ

谷川俊太郎

あたし しってる
あたしの あと
あなたの あは
おんなじ あなのよ

ぼく しってる
どせい の いちばん
おおきな えいせい は
たいたん

そのほかに も せんせいって
なにを おしえてくれるのかな
もしかすると すごいひみつ
そつと おしえてくれるのかな